

三加和
中学校
学校たより

磨き合え

17 限目
1月19日(金)

大人になっていく君たちへ...

先週、ディズニーランドでサイン帳をおとした親子の話をしたと思います。
そのお父さんからの手紙が、ディズニーランドに届いたのですが、その内容です。

二人大人になてほしいな...その2

先日は、「サイン帳」の件、ありがとうございました。実は連れて来ていた息子は、
脳腫瘍で「いつ死んでしまうかわからない」...そんな状態の時でした。息子は、
物心ついた時から、テレビを見ては「パパ、ディズニーランドに連れて行ってね」「ディズニーランド行こうね」と、毎日のように言っていました。「もしがしたら、約束を果たせないかもしれない」...そんなとき
でした。「どうしても息子をディズニーランドに連れて行ってあげたい」と思ひ、命が、あと数日で終わって
しまうかも知れないという時に、ムリを承知で息子をディズニーランドに連れて行きました。

その息子が夢にまで見ていた大切な「サイン帳」を落としてしまったのです。あの「用意して
頂いたサイン帳を息子に渡すと、息子は、「パパ、あたたんだね！パパありがとう！」と言って
大喜びしました。 とういながら息子は数日前に、息を引き取りました。
死ぬ直前まで息子はそのサイン帳をながめては、「パパ、ディズニーランド楽しかったね！
ありがとう！また、行こうね」といながら、サイン帳を胸に抱えたまま、永遠の眠りに
つきました。もし、あなたがあの時、あのサイン帳を用意してくださらなかったら、息子はこ
なにも安らかな眠りにはつかなかったと思います。私は、息子は「ディズニーランドの星」になた
と思っています。あなたのおかげです。本当にありがとうございました。 ➔

で、ここで学ばなきゃいけないことがあります。このま、「111話だ」で終わらせたいけれども、ここで質問です。
「このスタッフは、たまたま運が良くて、二人な大事な時に、二人に111仕事が出来たのでしょうか？」
今回のこのスタッフのした仕事は、人の人生を変えています。もちろん、そのとくた子供も嬉しかったと思いますが、
それ以上に、その親の人生を変えていると思うのです。みんなも子供をもてばわかりますが、自分の最愛の
子供がとくなたら、これほど悲しいことはありません。でも、その子が最後、笑顔でとくなっていくのと、「あの
サイン帳と二人に111あったのかな...」と悲しみながらとくなっていくのとでは全然、違います。もし、あの「サイン帳」
がなかったら、お父さんとお母さんは、「なぜなくしてしまたんたろう」「自分がとくと見ておけば...」と一生、悔
やむことでしょう。自分を責め続けたことでしょう。でも、このスタッフのした仕事で、このお父さんとお母さんが
どれだけの救われたか...。まちが11なく、今後の二人の人生を変えています。本当にすばらしい仕事です。

多分、その人は、普段からいつでも、どんなときでも、誰に対しても、精一杯の
事をしていたんじゃないでしょうか？ だから、二人な大事なときに、二人に111
仕事が出来たんじゃないでしょうか？

今回の話でも、散々探して見つからなかった「申し訳ございませでした。本当に一生懸命探したんです
が、どうしても見つかりませんでした。」この一言で十分です。お父さんも納得してくれたいでしょう。
誰もせめたりしないと思います。でも、自分にできることは...と考え、サイン帳を置いて
行き、すべて部署を回って、サインを集めた。もちろん、仕事で、ヒマでやってるんじゃないんでね。
自分の仕事もたくさんあって、それを終えてから勤務時間外にそういうことをやるでしょう。
でも、「人が喜んでくれるんだったら、それくらいのこと喜んでやります！」って
いう人だから、こういう仕事が出来たんじゃないでしょうか？

みんなは確実に大人になっていきます。何もなくても社会に出ていく時は来ます。
その時に、どんな大人になって社会に出るのか...。それは今の学生の時の過ごし方で決ま
てきます。仕事は社会に出て身につきますが、その人の**人格、性格**というのは、
思春期の今、身につくんですよ！！『二人大人になりた1』と理想の自分を目指して下さい。
今、楽な道を選んてしまうと...、 人の喜びを自分の喜びに変えれる人になてほしいです！！

先週に引き続き
「私が一番うけた111200の授業」
比田井和孝 著 から抜粋しました。

返信をよるし
お願いします。
返信用QRコード

